

AFP-L3(%)		2143000			
		担当部署			
AFP-L3		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			

生物学的基準範囲		AFP-L3 10%以下 ミュータスワコー AFP-L3・i50 試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	10	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	10				
	低値	0				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p><math>\alpha</math>-フェトプロテイン(AFP)は肝細胞癌の優れたマーカーとして広く用いられているが、慢性肝炎や肝硬変のような非肝癌患者でもその血中濃度が上昇するため、軽度～中等度高値(～400ng/ml)症例では一般に鑑別困難とされている。そこで、AFP 分子上の糖鎖の癌性変化をレクチンとの親和性を利用して検出し、肝細胞癌由来 AFP を分別測定する手法が開発された、</p> <p>AFP は分子量約 7 万の糖蛋白で、1 分子当たり 1 個のアスパラギン結合型糖鎖を有する。</p> <p>レンズマメレクチン(Lensculinarisagglutinin:LCA) を用いた親和電気泳動において分離されるバンドを L1(LCA 非結合型)、L2 (LCA 弱結合性)および L3 (LCA 結合性)分画とするととき、非肝癌患者 AFP の大部分が L1 分画に出現するのに対して、肝細胞癌患者では L3 分画の占める比率が増加する。こうした LCA 親和性の相違は糖鎖根部に結合するフコースの有無に関係していると考えられており、肝細胞癌の際はフコース結合型 AFP が増加するという。</p> <p>AFP-L3 分画比率の測定は肝細胞癌と肝良性疾患との鑑別診断、肝細胞癌の早期診断、および治療後の予後管理に有用である。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 317,2008</p>				